



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 第12号
令和6年 6月14日(金)
・「定期テスト」の実施について
・「定期テスト」の日課、追試験

四気=川越中校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」
学校教育目標 『豊かな心』を土台とした「確かに生きる力」の育成

- 『川越中学校の「定期テスト」の実施について』
- 『川越中学校の「定期テスト」の在り方について』
- 『川越中学校の「テスト日課・追試験」について』

1学期『期末テスト』がはじまります.1時間1時間の授業を大切に!

■ 期間 :6月19日(水)・20日(木)・21日(金)

■ 質問日 :6月13日(木)・14日(金)・18日(火) 放課後1時間程度<学年ごとで実施します>

① 川越中学校の定期テストは・・・

- 1学期は「中間テスト」を実施せず、『単元テスト』、『期末テスト』を実施。
 - 2学期は『中間テスト』、『期末テスト』を実施。
 - 3学期は、3年生は『卒業テスト』、1・2年生は『学年末テスト』を実施。
- ※ 学年ごとは、『実力テスト』も実施します。

1学期の「単元テスト」は実施済みですが・・・

川越中学校では、1学期の「中間テスト」は実施しません。理由としては、1学期は多くの行事等があり十分なテスト範囲を保障できないこと。また、入学後、間もない1年生が学校生活、日々の授業に慣れる前に「中間テスト」を行うことには難しい面が多くあります。

「単元テスト」を実施することによって、早い段階から生徒のつまずきに対応できます。また、1学期が始まってからの単元ごとの授業(学習のまとまりごと)について、学んだことを「小テスト」や「単元テスト」で確認し理解しきれていない部分を復習したり、次の授業に活かしていきます。日常的な授業改善を繰り返しながら、これからも日々の授業を大切にする生徒を育てていきたいと思えます。

② 令和6年度の川越中学校の『定期テスト』の日課について。

- 定期テスト(1学期期末テスト・2学期中間テスト、期末テスト・学年末テスト)のテスト発表「テスト1週間前の期間(中間テストは5日前から)」は、短縮日課(部活動なし)とします。【テストに向けた質問日などの学習の時間を確保することを目的とします】
- 定期テスト日課(テスト日課)は1限目は「教科の学習」を行い、2限目からテストを実施します。【昨年度からこの日課で実施しています。授業時間数確保のため】

登校は平常の日課と同じです。8時30分からはじまります。

【 テストが3限のとき 】		【 テストが2限のとき 】	
第1限 <small>教科学習</small>	8:30 ~ 9:15	第1限 <small>教科学習</small>	8:30 ~ 9:15
休憩	9:15 ~ 9:25	休憩	9:15 ~ 9:25
テスト配付	9:25 ~ 9:30	テスト配付	9:25 ~ 9:30
第2限	9:30 ~ 10:15	第2限	9:30 ~ 10:15
休憩	10:15 ~ 10:25	休憩	10:15 ~ 10:25
テスト配付	10:25 ~ 10:30	テスト配付	10:25 ~ 10:30
第3限	10:30 ~ 11:15	第3限	10:30 ~ 11:15
休憩	11:15 ~ 11:25	帰り学活	11:20 ~ 11:30
テスト配付	11:25 ~ 11:30	昼食なしで下校となります	
第4限	11:30 ~ 12:15		
帰り学活	12:20 ~ 12:30		
昼食なしで下校となります			

※定期テスト最終日は昼食後部活動を再開いたします。

時間は部活動ごとの「部活動実施計画（練習予定表）」にて確認ください。

③【 確認事項 】川越中学校の定期テストの「 追試験 」について

川越中学校『定期テスト（中間テスト・期末テスト・学年末テスト等）の「追試験」については、次の「追試験の在り方」に沿って実施します。

定期テストを受けることは大切です。しかし、誰もが体調に不安があり学校を欠席せざるを得ないことがあります。そのための、一緒に確認をしましょう。

定期テストの結果（点数）はもちろん大切ですが、成績（評価）はテストの結果（点数）だけで判断するものではありません。1時間1時間の授業を大切に取組み、授業に集中し、家庭学習を含めて、仲間とともに粘り強く学習を継続することが大切です。1日1日の積み重ねの過程を大切に頑張りましょう！

川越中学校の『定期テスト（中間テスト・期末テスト・学年末テスト等』の
『 追試験 』について

※ 令和5年度から以下の内容にて『追試験』を実施しています。

①『追試験』とは、

体調不良等のやむを得ない事由により、欠席した生徒が「当該教科実施日の翌日」に当該教科の試験を受けることである。

②『追試験の実施』について

当該教科の問題内容の漏れを防ぐ観点から、テスト実施日の翌日までとする。

③『追試験の結果』について

本試験と同等の扱いとする。

※ テスト最終日の二日後以降は、テスト問題を家に持ち帰ってテストを受ける。

※ 自宅で受けたテストの得点は参考とする。

【追試験の扱い】例：テストが二日間の場合

午前	一 日 目	テ ス ト	二 日 目	テ ス ト	テ ス ト 二 日 目 の 追 試 験 日
午後			の 追 試 験 日	テ ス ト 一 日 目	

テスト一日目に欠席した生徒が、一日目のテストを、二日目の追試験の日を受験しても、本試験と同等の扱いにはならない。参考とする。

【追試験の扱い】例：テストが三日間の場合

午前	一 日 目	テ ス ト	二 日 目	テ ス ト	三 日 目	テ ス ト	テ ス ト 三 日 目 の 追 試 験 日
午後			の 追 試 験 日	テ ス ト 一 日 目	の 追 試 験 日	テ ス ト 二 日 目	

テスト一日目・二日目に欠席した生徒が、一日目・二日目のテストを、三日目の追試験の日を受験しても、本試験と同等の扱いにはならない。参考とする。

【受験する場所】

		授業日	授業日
午前	テ ス ト 最 終 日	テ ス ト 最 終 日	テ ス ト 問 題 を 家 に 持 ち 帰 つ て テ ス ト を 受 け る
午後		の 追 試 験 日	朝 か ら 学 校

通常通り授業を受ける

誰もが、体調に不安があり、欠席せざるを得ないことがあります。だからこそ、『全校生徒のみなさんに考えてほしいこと』として…

『成績はテストの点数だけで決まるものではありません』
テストの点数だけではなく、他にも授業に取り組む様子や成果物としての課題提出レポート、作品のできばえや、1時間ごとの授業内で一生懸命に取り組んできた過程など、いろいろな大切な要素によって総合的に決められます。テストの点数だけではなく、1時間1時間の授業を大切に取組み、授業に集中し、自分の考えを持ちながら、仲間とともに粘り強く学習することが大切です。

来週から始まる【「期末テスト」にむけて。各クラス通信から全校のみなさんで共有したいこと】
① 1年1組クラス通信 第45号『誘惑に勝ち 机に向かおう』担任 伊藤 良亮

2024.06.13

I'll Be ...

担任：伊藤良亮
vol.045

≡ 誘惑に勝ち 机に向かおう ≡

一学期期末テストまで六日
今の努力が未来につながる

一学期期末テストまで、勉強できる日数は今日を含めて残り六日です。中学校での初の定期テストに向けて、残り六日間はテスト勉強を最優先にしましょう。誘惑に耐え、教室では共に学び合う雰囲気をつくることが大切です。さあ、テストへの挑戦です。

一学期期末テストに向けて、「早めにテスト勉強を始めよう」と話しています。二週間以上前からスタートし、仕上げに入っている人も多いようです。まだ、テスト対策を本格化させていない人は、いないでしょうか。残り五日間は勉強最優先の生活をおくりましょう。

家では、ゲームやインターネット、テレビは「封印」したでしょうか？遊んでもなんともかなく思うのは大間違いです。前回の単元テストを思い出しましょう。

さらに、今回の一学期期末テストは八教科で実施されます。遊んでいる暇はありません。

一年一組のみなさんは、これから入試までの間、十数回に及ぶ定期テストに挑戦します。（実力テストを含めると二十回近くに及ぶでしょう。）すべてのテストがみなさんの卒業後の進路につながります。今回の初めての定期テストから、テスト勉強の「型」を確立させ、良い結果を出すのが理想です。自分の未来のために、テスト期間中くらいは

自分の欲望を抑え、様々な誘惑を退けて机に向かいましょう。

今日、明日、火曜日は質問日！

六月十三日（木）、六月十四日（金）と六月十八日（火）の放課後に初の質問日があります。技術室で各教科の先生が集まり、一時間程度となりますが、授業や家庭学習でわからなかった部分について質問できる日となっています。

さて、今の自分の勉強の状況を思い出してみましょう。今まで勉強してきた理解できていない部分や解説を読んでいてわからなかった問題はなかったでしょうか？そういった部分を放っておいてはいけません。そのような問題はないでしょうか？

そういった部分を潰すための質問日であるということを理解してください。そのため、しっかりと現在、理解している部分と理解していない部分を把握しておきましょう。リストアップしておけば、今日の質問日が有意義な時間になるでしょう。

先生たちも初の定期テストのため、一時間という短い時間ですが、真剣に君たちの頑張る気持ちに向き合います。一緒に頑張ろう！

また、テストは一人て望むものですが、テスト勉強は仲間と協力することが大切です。まずは、毎時間の授業にこれまでに以上力を入れましょう。授業中の私語や、宿題を忘れてくることなども注意して集中しましょう。また、家庭学習中にSNSなどで友だちの邪魔をすることも許されません。逆に教室でわからないところを教え合ったり問題を出し合ったりしましょう。残り六日ですが、まだ間に合います。